

エホバはご自分に仕える人たちを見守っている

「エホバの目は神を畏れる人に向けられている」。詩編 33:18

4 番の歌 「エホバは私の牧者」

何を学ぶか* 私たちが今直面しているいろいろな問題と闘うには、エホバの助けが必要です。この記事では、エホバがご自分に仕える人たちを見守っていることについて考えます。エホバは、私たち一人一人がどんな問題に直面しているかをよく知っていて、それと闘うために必要な助けを与えてくださいます。

1. イエスがエホバに、弟子たちを守ってくださるようにとお願いしたのはなぜですか。

イエスは亡くなる前の晩、天のお父さんエホバに祈りを捧げ、弟子たちを守ってくださるようお願いしました。（ヨハ 17:15 この人たちを世から取り去ることではなく、邪悪な者から守ってくださるようお願いします、20 私は、この人たちだけでなく、彼らの言葉によって私に信仰を持つ人々についてもお願いします）もちろんエホバは、ご自分に仕える人たちのことをいつも見ていて、気遣い、守っています。でもイエスは、弟子たちがサタンからの猛烈な反対に遭うことや、それに立ち向かうためにはエホバの助けが必要であることをよく分かっていました。

2. 詩編 33 編 18-20 節によると、問題を恐れる必要がないのはなぜですか。

2 現在、真のクリスチャンはサタンが支配する世から非常に大きな圧力を受けています。それで、いろいろな問題にぶつかって落胆したり、エホバへの忠実を試されたりすることがあります。でも、この記事で考える通り、恐れる必要はありません。エホバが私たちを見守ってくださっているからです。エホバは、私たちがどんな問題に直面しているかを理解していて、助けたいと願っています。では、「エホバの目[が]神を畏れる人に向けられている」ことを示す聖書中の例を2つ考えてみましょう。（詩編 33:18-20 エホバの目は神を畏れる人に向けられている。神から揺るぎない愛を示されるのを待つ人に。19 死から助け出すため、飢饉の時に生き続けさせるためである。20 私たちはエホバに期待を抱く。神は私たちを助ける方、私たちの盾を読む。）

自分は独りぼっちだと感じる時

3. どんな時に、自分は独りぼっちだと感じるかもしれませんか。

3 私たちには信仰で結ばれた大きな家族がいるとはいえ、時には、自分は独りぼっちだという気持ちになることがあります。例えば、若い人たちは、学校でクラスメートに対して自分の信条を説明しなければいけない時や、会衆が変わる時などにそう感じるかもしれません。悲しくなった

り、**気分が落ち込んだり**した時に、**自分一人で闘わなければ**いけないと覚えることもあるでしょう。分かってもらえないのではないかと覚えて、**自分の気持ちを誰かに話す**ことを**ためらって**しまうかもしれません。**誰も**自分のことを**気に掛けてくれてなど**いない、と覚えることもあるでしょう。理由がどんなものだったとしても、**自分は独りぼっち**だという**気持ち**になると、**心細く不安**に思ふものです。**エホバ**は、私たちが**そうした気持ちになることを決して願って**はいません。どうしてそう言えるのでしょうか。

4. エリヤが「私だけが残りました」と言ったのはなぜですか。

4 エホバに忠実に仕えたエリヤの例を考えてみましょう。**イゼベルがエリヤを殺すことを誓**っていたため、**エリヤは40日余りにわたって逃げ**ていました。（王一 19:1-9 **3 エリヤは怖くなり、身を守るために立ち上がって逃げた。7 その後、エホバの天使が再び戻ってきて、彼に触れて言った。「起きて、食べなさい。大変な旅になるからです」。8 それで彼は起きてから食べて飲み、栄養を付けて、40日間ずっと(d*40日40夜)進み、やがて真の神の山ホレブに着いた。**）そして、洞窟の中で独りでいた時に、エホバに向かって、預言者は「**私だけが残りました**」と言いました。（王一 19:10 エリヤは言った。「私は、大軍を率いる神エホバにひたすら熱心に仕えてきました。イスラエルの民があなたの契約を捨て、あなたの祭壇を壊し、あなたの預言者たちを剣で殺したため、**私だけが残りました。今、彼らは私の命を狙っています**」）でも、実際には残っていた預言者がほかにもいました。オバデヤは、100人の預言者たちをイゼベルからかくまっていました。（王一 18:7 **オバデヤが道を進んでいると、エリヤが会いにやって来た。オバデヤはすぐにエリヤだと気づき、ひれ伏して、「エリヤ、あなたでしょうか」と言った、13 あなたは、イゼベルがエホバの預言者たちを殺した時に私がしたことをお聞きになっていないのですか。私はエホバの預言者100人を50人ずつ洞窟に隠し、パンと水を供給し続けたのです**）では、エリヤは**どうして自分は独りだと感じた**のでしょうか。**オバデヤがかくまった預言者たちはみんな死んでしまった**、と思ったのでしょうか。**カルメル山での対決でエホバが真の神であることが明らかに**なったにも**かかわらず**、**エホバへの崇拝に誰も加わらなかった**ので、がっかりしたのでしょうか。あるいは、**自分がどれほど危険な目に遭っているかを分**かってくれる人も、自分のことを**気に掛けてくれる人もいない**、と感じていたのでしょうか。聖書には**詳しいことは何も書かれて**いません。でも、次のことは確かです。**エホバはエリヤがどうして自分は独りだと感じていたのかも、どのように助けたらよいかも分**かっていた。



自分は独りぼっちだと感じる時、エホバがエリヤを助けた方法について考えると、どんな慰めを得られるだろうか。（5-6節を参照。）

5. エホバはどのようにエリヤを安心させましたか。

5 エホバは、いろいろな方法でエリヤを助けました。2度にわたって、「ここで何をしているのか」と尋ね、エリヤに話すよう促しました。（王一 19:9 エリヤはそこにあった洞窟に入り、そこで夜を過ごした。すると、エホバが彼に語り掛けた。「エリヤ、ここで何をしているのか」、13 エリヤはそれを聞くとすぐに職服で顔を覆い、外に出て洞窟の入り口に立った。すると、次のように尋ねる声がした。「エリヤ、ここで何をしているのか」）そして、どちらの時にも、エリヤが自分の気持ちを打ち明けるのをよく聞きました。また、ご自分がそこにいることや、どれほど大きな力を持っているかを示しました。さらに、ご自分に仕える人たちが大勢いることを知らせました。（王一 19:11-12 神は言った。「外に出て、山の上でエホバの前に立ちなさい」。すると、エホバがそばを通り、暴風がエホバの前で山々を裂き、大岩を砕いていった。しかしエホバは風の中にはいなかった。風の後、地震があった。しかしエホバは地震の中にもいなかった。12 地震の後、火が生じた。しかしエホバは火の中にもいなかった。火の後、穏やかで静かな声がした、18 イスラエルには、バアルにひざまずかず、口づけしなかった人たちがまだ7000人いる）エリヤは、エホバが自分の気持ちを聞いてそれに答えてくれたので、とてもほっとしたことでしょう。また、エホバはエリヤに重要な務めも幾つか与えました。ハザエルをシリアの王に、エヒウをイスラエルの王に、エリシャを預言者にするように、と言ったのです。（王一 19:15-16 エホバはエリヤに言った。「戻って、ダマスカスの荒野に行きなさい。そこに着いたら、ハザエルを選んで(d*に油を注いで)シリアの王としなさい。16 また、ニムシの孫エヒウを選んで(d*に油を注いで)イスラエルの王とし、アベル・メホラの人である、シャファトの子エリシャ(神は救い)を選んで(d*に油を注いで)、あなたに代わる預言者としなさい) こうした務めを与えることによって、エホバはエリヤが前向きな見方ができるようになりました。そしてエホバは、エリシャがエリヤと共に働くようにもしました。では私たちは、自分は独りぼっちだと感じる時、エホバに助けていただくためにどんなことができるでしょうか。

6. 自分は独りぼっちだと感じる時、どんなことを祈れますか。（詩編 62:8）

6 エホバは私たちに、ご自分に祈るようにと勧めています。エホバは、あなたがどんな問題と闘っているかを分かってくれていますし、あなたの祈りをいつでも聞いてくださいます。（テサ一 5:17 絶えず祈ってください）ご自分を崇拝する人たちの祈りを聞くのは、エホバにとって喜びです。（格 15:8 悪人の犠牲はエホバにとって忌まわしく、正しい人の祈りは神にとって喜びである）では、自分は独りぼっちだと感じる時、どんなことを祈れるのでしょうか。エリヤと同じように、自分の気持ちを全てエホバに打ち明けましょう。（詩編 62:8 民よ、いつでも神に頼れ。あなたの気持ちを全て神に伝えよ。神は私たちの避難所。（セラ）を読む。）どんなことを心配しているのかも伝えることができます。そうした気持ちに立ち向かえるよう、助けを求めてエホバに祈りましょう。例えば、学校で自分の信条について話す時に、心細くて怖くなるなら、勇気を求めてエホバに祈ることができます。上手に説明できるように知恵を求めることもできるでしょう。（ルカ 21:14-15 それで、どのように弁明するかを前もって練習しない、と心に決めなさい。15 私があなたたちに言葉と知恵を与えるからです。反対者は皆一緒になってもそれに抵抗も反論もできません）気分が落ち込む時にはどうでしょうか。経験を積ん

だクリスチャンと話せるように、また、その人が分かってくれるように、とエホバに祈ることができます。自分の気持ちをエホバに打ち明け、エホバからの答えに耳を傾け、ほかの人からの助けを受け入れるなら、自分は独りぼっちだという気持ちは和らいでいくでしょう。



仲間と一緒に奉仕する時間を増やすことができるだろうか。（7節を参照。）

7. マウリシオ兄弟の例からどんなことを学べますか。

7 エホバは、私たちみんなにやりがいのある仕事を与えてくださっています。そして、会衆や宣教で私たちが行うことに目を留め、高く評価してくださっています。（詩 110:3 あなたが軍勢を指揮する(*あなたの軍隊が集まる)日に、あなたの民は喜んで自分を差し出す。あなたが率いる若者たちは神聖さで光り輝く。夜明けに豊かに生じる露のよう）こうしたことに打ち込むなら、自分は独りぼっちだという気持ちに立ち向かう上で助けとなります。若いマウリシオ兄弟の例を考えてみましょう。*一部の名前は変えてあります。兄弟がバプテスマを受けたすぐ後、親しい友達が徐々に真理から離れていきました。兄弟はこう言います。「その友達が離れていくのを見て、自信がなくなりました。『自分は献身の誓いをきちんと果たせるだろうか。エホバの家族の中にとどまることができるだろうか』と不安になりました。とても寂しく感じ、こうした気持ちは誰にも分かってもらえないと思いました」。兄弟にとってどんなことが助けになったのでしょうか。こう言います。「宣教にもっと参加するようにしました。そうすると、自分のことや消極的なことばかり考えなくて済みました。誰かと一緒に宣教を行うと、とても楽しい気持ちになり、寂しさが和らぎました」。一緒に奉仕に出掛けることができないとしても、手紙伝道や電話伝道などを一緒に行うなら、力を得ることができます。マウリシオ兄弟は、ほかにも助けになったことについてこう言います。「会衆の仕事をもっと頑張るようになりました。また、集会での割り当てを一生懸命準備して果たすようにしました。こうしたことを行くと、エホバにも仲間にも喜んでもらっていると実感できました」。

厳しい試練に押しつぶされそうな時

8. 厳しい試練にぶつかると、どんな気持ちになることがありますか。

8 私たちは、この終わりの時代にさまざまな試練を経験するということを理解しています。（[テモ二 3:1](#) このことを知っておきなさい。終わりの時代は困難で危機的な時になります）でも、予想外の時に予想外のことが起きる場合もあります。例えば、突然経済的な問題にぶつかったり、重い病気になったり、愛する人を亡くしたりするかもしれません。こうした大変なことが次々に生じたり、たくさんの試練が一度に降り掛かったりすると、気持ちが落ち込み、押しつぶされそうに感じることもあります。でも、エホバは私たちのことを見守ってくれています。そして、エホバの助けがあれば、どんな試練に対しても確信を持って立ち向かうことができます。

9. ヨブはどんな試練を経験しましたか。

9 忠実な人ヨブをエホバがどのように助けただか、考えてみましょう。ヨブは短い間に大変な試練を幾つも経験しました。1日のうちに、家畜を失い、召し使いたちを殺され、愛する子供たちを亡くしました。（[ヨブ 1:13-19](#) 15 シバ人が襲ってきました。家畜は奪われ、召し使いたちは剣で殺されました。16 ……神の火(*稲妻)が天から下り、羊と召し使いたちを焼き尽くしました。19 すると突然、荒野の方から激しい風が家の四隅に吹き付け、家が倒れ、お子さんたちは下敷きになって亡くなりました）その後、深い悲しみに暮れている時に重い病気になり、体中に痛みの伴う腫れ物ができました。（[ヨブ 2:7](#) そこで、サタンはエホバの前から出ていき、ヨブの体に、頭のとっぺんから足の裏まで、痛みの伴う腫れ物(*ひどい潰瘍)を生じさせた）ヨブはとてもつらく感じていたので、「私は自分の命に嫌気が差します。生きていたくありません」と言うほどでした。（[ヨブ 7:16](#) 私は自分の命に嫌気が差します。生きていたくありません。放っておいてください。私の日々はまるで一呼吸のようだからです。）



エホバは、ご自分が造ったものを愛情深く世話している例を幾つか挙げて、ヨブを優しく気遣っていることを示した。（10節を参照。）

10. エホバはヨブが試練を乗り越えられるよう、どのように助けましたか。（表紙の絵を参照。）

10 エホバはヨブのことを見守っていました。ヨブを愛していたので、ヨブが試練を乗り越えられるよう必要な助けを与えました。ヨブに、ご自分が非常に豊かな知恵を持っていることや、ご自分が造ったものを愛情深く世話していることについて話しました。畏敬の気持ちを抱かせる動物

を幾つも挙げました。（ヨブ 38:1-2）そこでエホバは暴風の中からヨブに言った。2「知らないのに言葉を発し、私の考えを覆い隠しているのは誰か、39:9 野牛はあなたに自分から仕えるだろうか。あなたの牛小屋(*飼い葉おけ)で夜を過ごすだろうか、13 ダチョウは翼を樂しげに羽ばたかせる。しかし、その翼はコウノトリの羽や羽毛にかなうだろうか、19 馬に強さを与えるのはあなたなのか。さらさらと鳴るたてがみを首にまとわせるのはあなたなのか、27 ワシが飛び立ち、高い所に巢を作るのは、あなたの命令によるのか、40:15 さて、ベヘモト(カバのことかもしれない)の話をしよう。あなたと同じように、ベヘモトも私が造った。それは雄牛のように草を食べる、41:1-2 あなたは釣り針でレビヤタン(ワニのことかもしれない)を捕まえることができるか。縄でレビヤタンの舌を押さえ付けることができるか。2 レビヤタンの鼻に縄(d*イグサ)を通せるか。顎にかぎ(d*いばら)を刺し通せるか) また、ヨブに力や慰めを与えるために、忠実な若いエリフを用いました。エリフは、エホバがご自分に仕える人たちの忍耐に必ず報いる」ということを思い起こさせました。とはいえエホバは、エリフがヨブに思いやり深い助言を与えるようにもしました。エリフは、宇宙を造った方であるエホバと比べれば、人間がいかに小さな存在であるかを考えるよう勧め、ヨブが物事を広い視野で見られるように助けました。（ヨブ 37:14 ヨブ、聞いてください。いま一度、神の素晴らしい偉業についてじっくり考えてください）またエホバは、ヨブに務めも与えました。それは、罪を犯した3人の友のために祈ることでした。（ヨブ 42:8-10 さあ、雄牛7頭と雄羊7匹を連れて、私に仕えるヨブの所に行き、自分たちのために全焼の犠牲を捧げなさい。私に仕えるヨブがあなたたちのために祈る。愚かなことをしたあなたたちを処罰しないでほしいと。私はその願いを必ず聞き入れる。あなたたちは、私に仕えるヨブとは異なり、私について真実を語らなかった」。9 テマン人エリパズ、シュアハ人ビルダド、ナアマ人ツォファルは行って、エホバに言われた通りにした。エホバはヨブの祈りを聞き入れた。10 ヨブが友人たちのために祈った後、エホバはヨブの苦難を取り去り、再び豊かな生活を送らせた(d*エホバは捕らわれていたヨブを戻した)。エホバは、ヨブが以前に持っていた物を、2倍にして与えた) ではエホバは、私たちが難しい試練にぶつかる時、どのように助けてくださるでしょうか。

11. 試練を経験する時、聖書からどんな慰めを得られますか。

11 エホバは、ヨブに対しては直接語り掛けましたが、私たちに対しては聖書を通して語り掛けています。（ロマ 15:4 以前に書かれた事柄は皆、私たちを教えるために書かれました。そのおかげで私たちは忍耐でき、聖書から慰めを得られるので、希望を持っています) 私たちを慰めるために将来の希望を与えてくれています。では、試練にぶつかった時に慰めとなる聖書の言葉を幾つか考えてみましょう。エホバは、厳しい試練を含め、どんなものも「神の愛から私たちを引き離すことはできません」と述べています。（ロマ 8:38, 39 私は確信しています。死も、生も、天使も、政府も、今あるものも、これから来るものも、力も、39 高さも、深さも、ほかのどんな創造物も、主であるキリスト・イエスを通して示される神の愛から私たちを引き離すことはできません) また、祈りで「ご自分に呼び掛ける全ての人の近くにいろ」とも約束しています。（詩 145:18 エホバは、ご自分に呼び掛ける全ての人の近くにいる。ご自分に誠実に(*正しく)呼び掛ける全ての人の近くにいる) 聖書によれば、エホバに頼るならどんな試練も耐えることができ、喜びを味わうことさえできます。（コリ 10:13 皆さんが受けてきた誘惑は、多くの人が同じように経験してきた誘惑です。神は信頼できる方で、皆さんが耐えられないほど誘惑を受けるままにはしません。出口を設けて、誘惑に耐え切れるようにしてくださいます。ヤコ 1:2 私の兄弟たち、さまざまな試練に遭う時、それを喜ばしいことと考えましょう、12 試練に耐え続ける人は幸せです。神から良いと認められるとき、命の冠を受けるからです。その冠は、エホバ(*)がご自分を愛し続ける人たちに約束したものです) エホバが与えてくださる

祝福が永遠に続くことを考えれば、私たちが今経験している試練は、一時的で短いものです。（[コリ二 4:16-18](#)）ですから、私たちは諦めません。たとえ私たちの外面(*外面の人)は衰えていくとしても、内面(*内面の人)は日々新しくされていくのです。17 苦難(*試練)はつかの間で軽いものですが、はるかに重みのある(*重みを増していく)永遠の栄光を私たちにもたらします。18 私たちは、見えるものではなく見えないものに目を留めます。（見えるものは一時的ですが、見えないものは永遠だからです）そしてエホバは、全ての試練の根本原因である悪魔サタンとサタンに従う邪悪な者たちを除き去る、と約束しています。（[詩 37:10](#)ほんのもう少しすれば悪人はいなくなる。彼らがいた場所を見ても、もういない）あなたは、将来試練に遭った時に思い出せるよう、慰めとなる聖書の言葉を覚えていますか。

12. エホバは私たちがどうすることを願っていますか。

12 エホバは、私たちがきちんと時間を取り分けて聖書を学び、その内容をじっくり考えることを願っています。学んだことを実践するなら、信仰は強まり、天のお父さんエホバをいっそう身近に感じられるようになります。そのようにして、試練に耐えるための力を得ることができます。またエホバは、聖書を信頼する人たちに聖なる力も与えてくださいます。私たちはその力によって、「普通を超えた力」を得ることができ、どんな試練も忍耐することができます。（[コリ二 4:7-10](#)）しかし、私たちはこの宝を土の器に入れて持っています。そのため、普通を超えた力が私たちから出るのではなく、神から来るということが明かです。8 私たちは、あらゆる面で圧迫されながらも、身動きが取れないわけではありません。困惑させられながらも、逃げ道が全くない(if*絶望するしかない)わけではありません。9 迫害されながらも、見捨てられているわけではありません。倒されながらも、滅ぼされているわけではありません。10 私たちはこの体で、イエスが経験したひどい(*死に至らせる)仕打ちを常に耐え忍んでいます。私たちの体によってイエスの生き方が明らかになるためです）

13. 「忠実で思慮深い奴隷」が提供する信仰を強める食物は、私たちが試練に耐える上でどのように助けとなりますか。

13 「忠実で思慮深い奴隷」は、エホバからの助けを得て、さまざまな記事や動画や音楽を提供してきました。そのおかげで、私たちは信仰を強め、エホバとの絆を保つことができます。（[マタ 24:45](#) 主人が、召し使いたちに適切な時に食物を与えるため、彼らの上に任命した忠実で思慮深い奴隷はいったい誰でしょうか）私たちは、エホバが適切な時に与えてくださるこうした食物を十分に活用する必要があります。米国の1人の姉妹は、こうした信仰を強める食物に感謝して、こう述べています。「私は40年にわたってエホバに仕えてきましたが、エホバへの忠誠を試されることが何度もありました」。姉妹は、とても大変な試練を幾つも経験しました。祖父を、飲酒運転の人が起こした事故で亡くしました。そして、両親は重い病気になるまで亡くなりました。姉妹自身、がんとの闘いを2度経験しました。姉妹が忍耐する上で、どんなことが助けになったのでしょうか。姉妹はこう言います。「エホバは私のことをいつも気に掛けてくれています。忠実で思慮深い奴隷を通して与えてくださる信仰を強める食物のおかげで、忍耐することができています。それで私も、ヨブと同じように、『私は死ぬまで忠誠を貫く！』とすることができます」。（[ヨブ 27:5](#)）



会衆の兄弟姉妹を助けるために、どんなことができるだろうか。（14節を参照。）

14. 私たちが試練に遭う時、エホバは兄弟姉妹を用いてどのように助けてくださいますか。（[テサロニケ第一 4:9](#)）

14 エホバは、私たちが大変な時に愛し合い、慰め合うようトレーニングしてくださっています。（[コリ二 1:3-4](#) 私たちの主イエス・キリストの父である神が賛美されますように。神は、温かな憐れみの父、あらゆる慰めの神であり、4 私たちがどんな試練(*苦難)に遭うとしても慰めて(*励まして)くださいます。それで私たちは、神からの慰めにより、どんな試練(*苦難)に遭う人をも慰めることができます。[テサロニケ第一 4:9](#) 兄弟愛に関しては、書き送るまでもないでしょう。皆さんは神に教えられて愛し合っているからですを読む。) 会衆の誰かが難しい問題に遭っても忠実を保てるよう、兄弟姉妹はエリフに倣って喜んで助けたいと思っています。（[使徒 14:22](#) 弟子たちを力づけ、信仰を保つよう励まして、「私たちは、多くの苦難を経験して神の王国に入らなければなりません」と言った）ダイアン姉妹は、夫が重い病気になった時、会衆の仲間から励まされ、エホバとの絆を保つことができました。姉妹はこう言います。「本当につらい数カ月間でしたが、エホバが力強い腕で優しく支えてくださっていると感じました。会衆のみんなはいろんな方法で助けてくれました。家に来てくれたり、電話をかけてくれたり、ハグしてくれたりしたので、頑張ることができました。私は車を運転できないので、会衆の兄弟姉妹は私が集会や伝道に行けるように助けてくれました」。こうした愛情深い兄弟姉妹が会衆の中にいるというのは、本当に素晴らしいことではないでしょうか。

エホバの優しい気遣いに感謝する

15. 私たちが問題に立ち向かえるのはなぜですか。

15 私たちは、誰もが何かしらの試練を経験します。でも、この記事で考えた通り、私たちはそうした試練と独りで闘わなければいけないわけではありません。エホバは優しいお父さんのように、私たちのことを見守ってくれています。いつも私たちのそばにいてくださいますし、私たちの願いを聞き、喜んで助けたいと思っています。（[イザ 43:2](#) あなたが水の中を通るとき、私はあなたと共にいる。川を渡るとき、あなたが水にのまれることはない。火の中を歩いても、あなたは焼かれず、炎に焦がされることもない）エホバが必要なものを全て与えてくださっているのです、私たちは問題に立ち向かうことができます。私たちの祈りを聞いてくださいますし、聖書や信仰を強めるたくさんの食物や、大変な時に助けてくれる愛情深い兄弟姉妹を与えてくださっているのです。

16. エホバに引き続き気遣っていただくためには、どんなことをする必要がありますか。

16 天のお父さんエホバ神が私たちのことを見守ってくれているのは、本当にうれしいことです。「私たちの心は神のことで喜び」ます。(詩 33:21 私たちの心は神のことで喜び、神の聖なる名を信頼する) 私たちは、エホバが与えてくださっている助け全てを活用することによって、エホバの優しい気遣いに感謝していることを示せます。また、エホバから引き続き気遣っていただくためには、自分の責任を果たす必要があります。ベストを尽くしてエホバに従い、エホバから見て正しいことを行い続けるなら、エホバは私たちのことをいつまでも見守ってくださるのです。(ペテロ 3:12 エホバ(*)は正しい人に目を留め、その人たちの祈願に耳を傾ける。しかし、エホバ(*)は悪を行う人に厳しい顔を向ける)

どのように答えますか

1. 自分は独りぼっちだと感じる時、エホバはどのように助けてくださいますか。

- S06 自分の気持ちを全てエホバに打ち明け、そうした気持ちに立ち向かえるよう助けや勇気を求めることができる。エホバからの答えに耳を傾け、ほかの人からの助けを受け入れる。
- S07 エホバが与えてくださっているやりがいのある仕事、宣教にもっと仲間と一緒に参加する。また同じように会衆の仕事や割り当ても一生懸命行う。

2. 厳しい試練に押しつぶされそうな時、エホバはどのように助けてくださいますか。

- S10 ヨブのことを見守り愛していたので、試練を乗り越えられるよう必要な助けを与えてくださった。ヨブに、ご自分が非常に豊かな知恵を持っていることや、ご自分が造ったものを愛情深く世話していることについて話し、畏敬の気持ちを抱かせる動物も幾つも挙げた。ヨブに力や慰めを与えるために、忠実な若いエリフを用い、ご自分に仕える人たちの忍耐に必ず報いることを思い起こさせた。エホバは、ヨブに罪を犯した3人の友のために祈るという務めも与えた。
- S11 エホバは、ヨブに対しては直接語り掛けましたが、私たちに対しては聖書を通して語り掛け、慰めとなる将来の希望を与えてくださっている。試練にぶつかった時に慰めとなる聖書の言葉⇒①厳しい試練を含めてどんなものも神の愛から私たちを引き離せない(ロマ 8:38、39)、②祈りでご自分に呼び掛ける全ての人の近くにいる(詩 145:18)、③エホバに頼るならどんな試練も耐えることができ(コリ 10:13)、喜びを味わえる(ヤコ 1:2)、④エホバが与えてくださる祝福が永遠に続くことを考えれば、私たちが今経験している試練は一時的で短い(コリ 4:16-18)、⑤エホバは、全ての試練の根本原因である悪魔サタンとサタンに従う邪悪な者たちを除き去る、と約束してくださっている(詩 37:10)

3. エホバの優しい気遣いに感謝すべきなのはなぜですか。

- S15 エホバが必要なものを全て与えてくださっているので、私たちは問題に立ち向かうことができる。私たちの祈りを聞いてくださり、聖書や信仰を強めるたくさんの食物や、大変な時に助けてくれる愛情深い兄弟姉妹を与えてくださっている。
- S16 私たちは、エホバが与えてくださっている助け全てを活用することによって、エホバの優しい気遣いに感謝していることを示せる。また、エホバから引き続き気遣っていただくためには、自分の責任を果たす必要がある。

30 番の歌 私の父、私の神、私の友